



赤こんりポート

東恵子リポーター



芝生の町で ナイスシュート！

第5回 U-12 近江八幡サッカー協会杯が7月10～11日、健康ふれあい公園などで開かれ、市内8チーム、市外(県内)8チームで熱戦を繰り広げました。なんとといっても、4月に完成したばかりの人工芝サッカー場の竣工記念です。雨予想の天気を覆し、雨雲を跳ね飛ばす勢いで試合が進みました。2日目は3・4位トーナメントと1・2位トーナメントがありました。3・4位トーナメント優勝は、桐原 JFC。1・2位トーナメント優勝は、野洲 JFC でした。決勝戦は、雷雲が近づき途中で切り上げられ、表彰式が行われました。同協会の野元正一郎会長は「女子サッカーも市内で盛んになっている。芝生の町、サッカーの町にしていきたい」と話していました。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



ニゴロブナさん大きくなって

梅雨空のもと、びわ湖の固有生態系を維持するための「ニゴロブナの稚魚をびわ湖へ放流しよう」の体験活動が、6月27日に北里学区野村町自治会・まちづくり協議会の主催で行われました。琵琶湖栽培漁業センターで生まれた稚魚約12万匹が田んぼに放流され、約1か月間で体長2cm程度まで成長しました。回収された4万匹を今回、牧水泳場に運んでいただきました。体験には約30組の親子が参加し、放流前に稚魚の生い立ちやびわ湖にいる魚について学びました。幼児・小学生が小さなバケツに稚魚をすくい「大きくなあれ」と願い、何回も往復してびわ湖に放流しました。

赤こんりポート

今井良治リポーター

タバコや薬物は「ダメ。ゼッタイ。」
滋賀医大生が中学校で実習授業

滋賀医科大学の4年生あわせて27人による薬物乱用防止・防煙についての実習授業が7月2日から7日にかけて市立4中学校で行われました。同大学の社会医学フィールド実習の一環。青少年の薬物乱用防止を目指す近江八幡・竜王少年センターと連携し、平成18年から同センター管轄の小・中学校を対象に毎年行われていますが、昨年はコロナ禍で中止となり、2年ぶりに実施されました。八幡東中学校では2年生の各教室で、白衣姿の医大生が、喫煙の継続が確実に寿命を縮めることや受動喫煙の恐ろしさなどを、電子黒板を駆使し分かりやすく説明し、生徒たちは熱心に聴き入っていました。

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



新生！レイクビクターズ

島学区スポーツ少年団と岡山区スポーツ少年団の野球部が合同で、レイクビクターズとして昨年末より活動を始動しています。現在市内の小学1～6年生28人が在籍。キャプテンの北川晴貴さんは「(合同になり)より野球の楽しさを感じられるようになった」と誇らしげに教えてくれました。現在成績は右肩上がり！体験入部も随時行っておられるそうです。詳しくは、各コミセンへお問い合わせください。湖の勝者目指して、GO！レイクビクターズ！！

7月11日

東京オリンピック出場の乾友紀子選手を
まちぐるみで応援

アーティスティックスイミング日本代表選手である乾友紀子さんの地元、北之庄自治会では、オリンピック出場を祝うメッセージが入ったのぼり旗や横断幕、うちわを製作し、まちぐるみで応援しています。この日は、のぼり旗2本と横断幕を北之庄町地先の豊年橋付近の歩道のガードレールに取り付けました。同自治会の廣田副会長は「町をあげて応援していくので、ぜひともメダル獲得を目指して頑張ってもらいたい」と話していました。

7月3日

大阪天神祭で設置される
水郷のヨシを大阪天満宮に奉納

近江八幡和船観光協同組合が円山町地先の西の湖畔の水郷で刈り取ったヨシを、大阪天満宮に奉納しました。このヨシは、7月24～25日に大阪天満宮で行われる日本三大祭の一つ「大阪天神祭」で、同宮正面の大手門に設置される「大茅の輪」の材料に使われます。奉納は、平成10年から始まり、今年で24回目。この日は、組合員や神職ら10人が和船に乗り、葎大龍神の祠へ。前日に和船組合の船頭らが祠付近で刈り取って束ね、和船に載せておいた、ヨシの束25束を前にして神事が行われ、無病息災、コロナ禍の終息を祈りました。

4月29日
～6月27日

幻想的な虹色の灯りに包まれて

八幡山の山頂にある村雲御所瑞龍寺門跡の「雲の間」に、植物・花などの自然をモチーフにした紙製のランプを展示するあかり展が開催されました。八幡山ロープウェーを運行する近江鉄道株式会社が、新緑の季節にあわせて企画。この展示は「雲の間に咲く虹色の花」という副題が添えられており、同門跡の「雲の間」には、植物や花などの自然をイメージした虹色の紙製のランプ約50個が和室に咲く花のように展示されました。

6月13日

軽快なメロディにのる島弁で体「いごかす」
島弁ラジオ体操のCDが完成

「かいな(うで)を横に振って、あいや(あし)をしっかり曲げ伸ばしや」一。島学区まちづくり協議会が地域に伝わる「島弁」のラジオ体操のCDを制作しました。お披露目会として、各町でラジオ体操を実施し、この日、島町では、自治会館前の草の根ひろばに約50人の住民が集まり、小西市長も参加しました。盆踊りのような軽快なメロディーとなじみ深い島弁によるラジオ体操の歌が会場に響き渡り、住民らは約3分間の体操を楽しみました。今後、月1回学区内の各町で実施されるほか、各町や学区の運動会などのイベントで活用されます。